

新潟県の地震概況 令和5年(2023年)10月

令和5年11月10日

新潟地方気象台

【10月の地震活動概況】

この期間、県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は1回(最大震度は1)でした。新潟県とその周辺(図1)で発生した地震で、県内で震度1以上を観測した地震は1回でした。(「期間内に発生した主な地震」を参照)。

【10月に新潟県周辺で発生した地震】

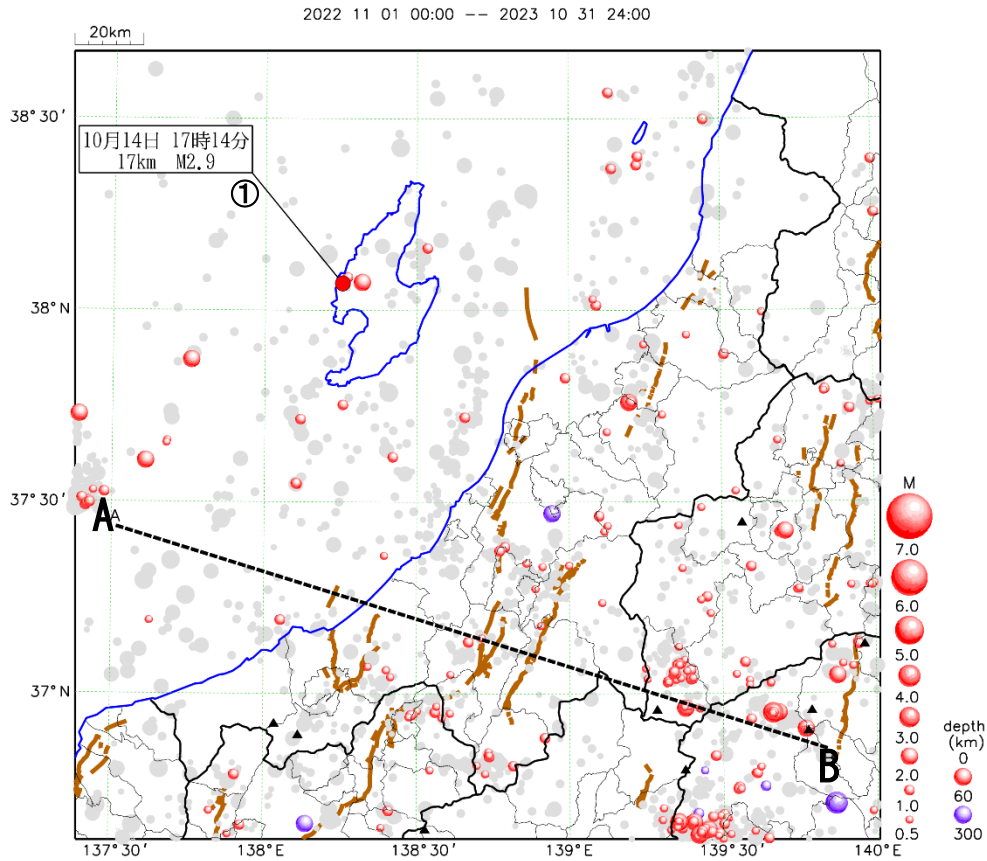


図1 震央分布図(深さ0~300km、M0.5以上)

※過去1年間の地震を表示。令和5年10月に発生した地震を赤又は青、それ以前はグレーで示した。

※図中の茶色線は地震調査研究推進本部で長期評価されている活断層を示す。

※図中の▲は活火山を、▼は深部低周波地震を示す。

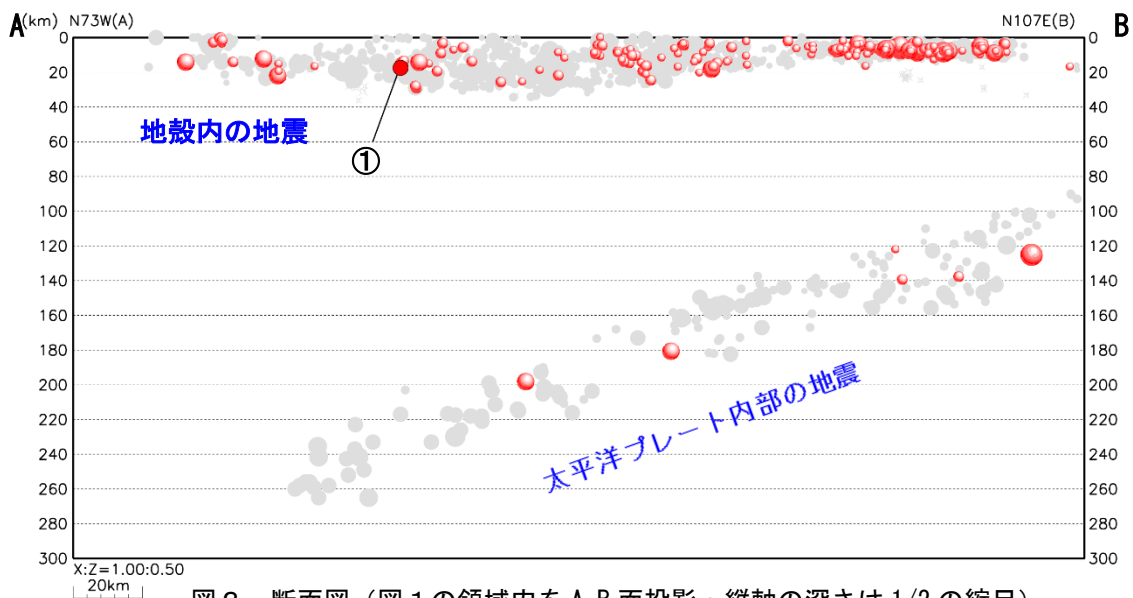


図2 断面図(図1の領域内をA-B面投影: 縦軸の深さは1/2の縮尺)

【期間内に発生した主な地震】

- ① 14日17時14分 佐渡付近の地震 (M2.9、深さ17km) により、新潟県佐渡市で震度1を観測しました。この地震は地殻内で発生しました。

【新潟県内で震度1以上を観測した地震】 期間 2023年10月1日～2023年10月31日

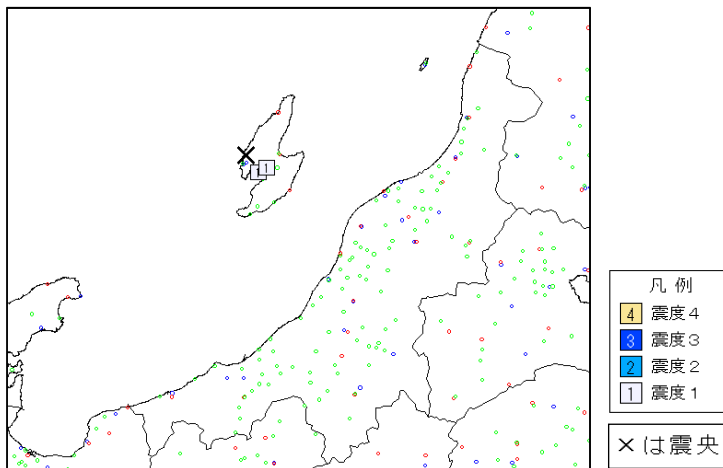
地震の発生日時 (年/月/日/時:分)	震央地名	緯度	経度	深さ	規模	全国最大震度
各地の震度 *は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点						
① 2023年10月14日17時14分	佐渡付近	38° 04.2' N	138° 15.2' E	17km	M2.9	1
震度 1 : 佐渡市千種*, 佐渡市河原田本町*						

【震度分布図】

- ① 14日17時14分 佐渡付近

図中○は震度観測点を示す

観測点別震度分布図



【新潟県内で最大震度1以上を観測した月別・震度別地震回数表】

年	2022年		2023年										合計
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
震度1	5	1	3	0	3	2	7	2	3	2	3	1	32
震度2	2	0	1	1	0	0	3	0	0	1	1	0	9
震度3	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	4
震度4	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
合計	7	1	4	1	3	3	15	2	3	3	4	1	47

【過去の地震・津波災害から学ぶ】

今年は、甚大な被害をもたらした関東大震災から100年、福井地震から75年、日本海中部地震から40年です。あらためて地震・津波災害の重大さを認識し、普段の地震・津波への備えの確認をお願いします。各特設サイトが設けられていますのでご覧ください。

※東京管区気象台HPに各ページの案内を設けています。<https://www.data.jma.go.jp/tokyo/>
新潟県地震概況「地震津波一口メモ」では、[2023年4月に日本海中部地震](#)、[2023年7月に大正関東地震](#)を取り上げて掲載しておりますのでご覧ください。

注) 利用にあたって

- ・資料は速報であり後日の調査により変更されることがあります。
- ・新潟県内で震度1以上を観測した地震の一覧表の震度は、県内のみを記述しています。また、最大震度は、県内または県外での値を記述しています。
- ・気象庁では地震の震源、マグニチュード等を算出するにあたり、国立大学法人などの関係機関から地震観測データの提供を受け(注1)、文部科学省と協力して処理を行っています。また、震度の情報は、地方公共団体及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供された観測データを含めて発表しています。

(注1) 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点(よしが浦温泉、飯田小学校)、米国大学間地震学研究連合(IRIS)の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

- ・この地震概況は新潟地方気象台ホームページの地震解説資料・地震概況のページに掲載しています。
https://www.data.jma.go.jp/niigata/jishin/jishin_kaisetu_index.html
- ・資料についての問い合わせ先：新潟地方気象台電話：025-281-5872

【地震・津波一口メモ】

地震・津波と火山の解説資料

本資料「新潟県の地震概況」は前月分の地震活動をまとめた定期的な解説資料です。

- ・新潟県の地震解説資料：https://www.data.jma.go.jp/niigata/jishin/jishin_kaisetu_index.html

このような定期的な解説資料は各気象台が都道府県毎に作成し、各気象台のHPに掲載しています。その他、気象庁HPには、以下のような解説資料が掲載されています。

1. 地震・火山月報(防災編)：
毎月の日本の地震・火山の活動及び世界の主な地震や火山活動をまとめた資料。
翌月15日頃に掲載。
<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/gaikyo/index.html>
2. 地震活動及び火山活動について：
前月分の地震・火山活動について、10日頃までに解説を報道発表。
気象庁HPのホーム「報道発表」に掲載。
令和5年10月の例：<https://www.jma.go.jp/jma/press/2311/09a/2310jishin.html>
3. 地震解説資料：
地震発生後数時間程度で作成される顕著な地震活動に関する報道発表資料。
気象庁HPのホーム「報道発表」に掲載され、後日以下のページにも掲載されます。
<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/gaikyo/index.html>

3の地震解説資料が速報的なもので、地震発生時の防災対応を支援するために作成しているのに対し、1,2は地域の地震活動の状況や特徴を解説し、主に防災機関の方々に理解を深めていただく目的で作成しています。(津波に関する事項もこれら解説資料に含まれています。)

新潟県には新潟焼山、妙高山の二つの活火山があります。火山の解説資料は「地震・津波」とは異なり、「新潟県の地震概況」のような県毎の解説資料ではなく、火山毎に作成しています。

1. 火山活動解説資料：
火山活動の状況や防災上警戒・注意すべき事項等について随時及び定期的に公表する資料。
https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact_vol.php?id=307
2. 月間火山概況：
毎月上旬に前月一か月間の火山活動の状況等を全国及び地域毎に取りまとめた資料。
https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

参考) 我が国にある111の活火山のうち、火山防災のために監視・観測体制の充実等の必要がある火山として50の火山が選定され、新潟焼山も火山活動を24時間体制で常時観測・監視しています。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/intro/gyomu/index92.html>

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/open-data/open-data.php?id=307>